

令和2年度

社会福祉法人弥生福祉会 地域貢献活動事業報告書

【目的】

私たち弥生福祉会は社会福祉法人の使命として、地域社会の発展のため「地域づくり」に取り組んでまいります。

◎社会福祉法人弥生福祉会の理念である「老いても人生を エンjoyイできる 地域社会の創造」を実現させるために、「地域貢献活動事業計画」を策定。

- ・職員会議などを通じて、法人全職員に対して説明し、活動への理解促進に努めた
- ・地区社協や地域包括支援センターへ活動内容の説明を行い、地域貢献活動への協力、連携を継続して依頼した

【活動内容】

- ①自治会活動への取り組み
- ②地域行事への取り組み
- ③地域防災、福祉避難所(特養、やよいの里)としての取り組み
- ④認知症の理解促進、普及啓発への取り組み
- ⑤生活困難者総合相談・生活支援事業への取り組み
- ⑥その他、依頼のある地域社会の発展に寄与する活動

【活動報告】

地域との連携を図るための活動

<自治会活動>

- ・事業所の立地する自治会への加入（若杉中、若杉南、緑苑）
- ・自治会の回覧板にて地域の情報を収集し、当法人の広報誌やお知らせを入れさせてもらい、活動へ繋がった

<福祉避難所としての活動>

- ・福祉避難所として、積極的に広報活動を行い、災害時に活用いただけるように努めた

地域福祉への貢献活動

<認知症の理解普及・啓発活動>

- ・キャラバン・メイトを各事業所へ配置
- ・認知症にやさしいまちづくり協力事業所としての活動

※今年度は新型コロナウイルスの影響により、多くの地域活動が開催できていない状況にある。令和3年度より、開催方法や協力方法を工夫して行っていく予定。

<介護支援専門員同士のネットワーク構築や実践力向上の協力活動>

- ・社エリアでの多職種連携会議への参加と主任介護支援専門員として、地域ケア会議等でのファシリテーターとしての協力

<地域福祉向上のための協力活動>

- ・福井市サービス事業者連絡協議会第5部会（居宅介護支援事業所と地域包括支援センター）の代表理事となり、研修会企画や検討委員会への参加

<生活困難者に対する取組>

- ・福井県内の社会福祉法人が連携して地域に貢献する「生活困難者総合相談・生活支援事業（ふく福くらしサポート事業）」への取り組みを継続している。在宅介護支援センターの相談窓口（地域相談員）が、必要に応じ、関係機関と連携・協働しながら様々な生活課題を抱える人々に対する相談に応じ、適切な助言等を行うほか、本人の意思に基づき生活困窮者自立相談支援機関等専門機関への情報提供等を行う。今年度は問い合わせや相談はなかった。包括や民生委員への周知活動、法人ホームページへの掲載などにより制度の周知活動を行った。

【総評】

地域貢献活動計画としては5年目に入った。地域へも少しずつ浸透しており、定着している取り組みもでてきており、地域との接点も増えている。様々な活動がある中で、社会福祉法人として地域に貢献できる活動に絞って取り組んだ。

福井県内の社会福祉法人が連携して地域に貢献する「生活困難者総合相談・生活支援事業（ふく福くらしサポート事業）」への取り組みを継続している。来年度は今までの活動を振り返り、法人内に『地域を紡ぐ委員会』を設置し、全職員を巻き込みながら法人全体として地域貢献活動へ取り組んでいく。